

財務諸表論【ミニテスト】

完 全 合 格
コ ー ス

問題ーテキストNo.1 第3回

制限時間10分

C株式会社の当期（令和4年4月1日から令和5年3月31日）の次に示す資料により、会社計算規則に準拠した貸借対照表及び損益計算書の一部を作成しなさい。

〔資料1〕 残高試算表（一部）

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
長 期 預 金	25,000	短 期 借 入 金	12,000
⋮	⋮	⋮	⋮
期 首 商 品 た な 卸 高	96,000	期 末 商 品 た な 卸 高	196,000
当 期 商 品 仕 入 高	730,000	売 上 高	1,302,500
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	421,500	受 取 利 息	1,800
売 上 値 引	12,500	投 資 不 動 産 賃 貸 料	3,300
支 払 利 息	8,200	固 定 資 産 売 却 益	1,500
固 定 資 産 災 害 損 失	7,500	⋮	⋮
法人税、住民税及び事業税	96,600		
⋮	⋮		

- 〔資料2〕 参考事項
- 1

残高試算表の投資不動産賃貸料3,300千円は、当期首に賃貸を開始した建物に対して受け取ったものである。契約期間は2年間で賃貸料を全額前受けしている。
- 2

残高試算表の長期預金25,000千円は、令和4年10月1日に預け入れた定期預金である。利払日は年1回9月末であり、経過利息63千円の処理が未了である。
- 3

残高試算表の短期借入金12,000千円は、令和4年11月1日に借り入れたものであり、令和5年10月31日に一括返済するものである。返済時に利息を支払うことになっているが、経過利息50千円の処理が未了である。

完 全 合 格
コ ー ス

得 点	会 員 番 号									
/ 50										
	氏 名 (カ ナ)									

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	(× × ×)	I 流 動 負 債	(× × ×)
⋮	⋮	短 期 借 入 金	12,000
⋮	⋮		
II 固 定 資 産	(× × ×)	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
3 投 資 そ の 他 の 資 産	(× × ×)	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
長 期 預 金	25,000	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

(単位：千円)

摘 要	金 額	
I		()
II 売 上 原 価		()
		()
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		()
営 業 利 益		()
IV		
受 取 利 息	()	
投 資 不 動 産 賃 貸 料	()	()
V 営 業 外 費 用		
	()	()
経 常 利 益		()
VI		
固 定 資 産 売 却 益	()	()
VII		
固 定 資 産 災 害 損 失	()	()
税 引 前 当 期 純 利 益		()
		()
当 期 純 利 益		()

財務諸表論【ミニテスト】

完全合格
コース

解答ーテキストNo.1・第3回

貸借対照表

C株式会社
令和5年3月31日
(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	(× × ×)	I 流 動 負 債	(× × ×)
:	:	短 期 借 入 金	12,000
未 収 収 益	5 63	未 払 費 用	5 50
:	:	前 受 収 益	1,650
II 固 定 資 産	(× × ×)	:	:
:	:	:	:
3 投資その他の資産	(× × ×)	:	:
:	:	:	:
長 期 預 金	25,000	:	:
:	:	:	:

損益計算書

C株式会社 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 (単位：千円)

摘 要	金 額	
I 売 上 高	5	1,290,000
II 売 上 原 価	5	630,000
売 上 総 利 益	5	660,000
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		421,500
営 業 利 益	5	238,500
IV 営 業 外 収 益	5	
受 取 利 息		1,863
投 資 不 動 産 賃 貸 料	5	1,650
V 営 業 外 費 用		
支 払 利 息		8,250
経 常 利 益		233,763
VI 特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益		1,500
VII 特 別 損 失	5	
固 定 資 産 災 害 損 失		7,500
税 引 前 当 期 純 利 益		227,763
法人税、住民税及び事業税		96,600
当 期 純 利 益	5	131,163

【配 点】 5×10カ所 合計 50点

解答への道

（仕訳の単位：千円）

1 損益計算書のタイトル等の記載について

損益計算書には会計期間を付す。

2 金額欄について

金額欄の使い方は以下のとおりである。

各科目の金額…左側の欄に記載

各区分の金額（合計額）…右側の欄に記載

利益の金額…右側の欄に記載

税引前当期純利益より下…原則右側の欄に記載

3 売上値引の修正

（売	上	高）	12,500	（売	上	値	引）＊	12,500
----	---	----	--------	----	---	---	-----	--------

＊ 売上値引は、売上高の控除項目として取り扱う。

4 売上原価

期首商品たな卸高96,000千円＋当期商品仕入高730,000千円－期末商品たな卸高196,000千円＝630,000千円

5 投資不動産賃貸料

（投	資	不	動	産	賃	貸	料）	1,650	（前	受	収	益）＊	1,650
----	---	---	---	---	---	---	----	-------	----	---	---	-----	-------

＊ 3,300千円÷2年＝1,650千円

2年分の賃貸料を受け取っているため、翌期に計上すべき賃貸料を前受収益に振り替える。

6 受取利息

（未	収	収	益）＊	63	（受	取	利	息）	63
----	---	---	-----	----	----	---	---	----	----

＊ 当期分として計上すべき受取利息を計上すると同時に未収収益を計上する。

7 支払利息

（支	払	利	息）	50	（未	払	費	用）＊	50
----	---	---	----	----	----	---	---	-----	----

＊ 当期分として計上すべき支払利息を計上すると同時に未払費用を計上する。

【論点確認】

- 1 タイトル等の記載
- 2 P/Lの各区分及び各利益の名称
- 3 P/Lの金額の算定の仕方
- 4 売上原価の表示（内訳を示さない方法）
- 5 金額欄の使い方
- 6 経過勘定項目

【学習上のアドバイス】

- 1 各区分の名称を正確に習得すること。
- 2 利益の名称（売上総利益、営業利益など）については、特に間違いが多い箇所のため注意する。
- 3 売上高から控除すべき項目、及び仕入高から控除すべき項目をしっかりと習得する。